

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年 2月28日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	苫小牧港開発株式会社
所 在 地	〒053-0003 北海道苫小牧市入船町2丁目9番15号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 関根久修
担 当 者 連 絡 先	電 話：0144-33-1131
	メー ル：somu-koho@tomakai.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.tomakai.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は1958年（昭和33年）の創業以来、苫小牧臨海工業地帯の造成分譲事業や石炭荷役事業等の様々な事業を推進し、現在は主に苫小牧西港フェリーターミナルの運営事業や苫小牧西港周辺（苫小牧西部工業基地）における不動産事業（分譲・賃貸等）を行っている。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	フェリーターミナル利用の旅客・物流における信頼性の維持・向上	将来の旅客・物流ニーズに適したシステム・サービスの改良、定時運航を支える継続的な施設等の整備・安全作業・BCP対応の徹底を目指す
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	全ての人が快適に利用できる施設の提供	フェリーターミナル及び関連施設のバリアフリー化の進展等を通じたユニバーサルツーリズム確立への貢献 2025年：1・3号人道橋改修予定 2026年：3号歩道橋改修予定
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	温室効果ガス（CO ₂ ）排出量削減	社有地での太陽光発電事業を展開し、自社の脱炭素化を進め、当社全体におけるCO ₂ 排出量を2030年度において、2013年度比約80%削減を目指す 【現状】64%削減 ※2020年度実績 【目標】80%削減

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1	
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13		
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4			
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6								15	
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6									
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15
18		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6			
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13		
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15

[illegible]

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	北海道苫小牧市入船町 2 丁目 9 番 15 号
名称：	苫小牧港開発株式会社
代表者：	代表取締役社長 関根久修
登録年月日：	2024 年 3 月 22 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	フェリーターミナル 利用の旅客・物流にお ける信頼性の向上	将来の旅客・物流ニーズに適したシ ステム・サービスの改良、定時運航 を支える継続的な施設等の整備・安 全作業・BCP 対応の徹底を目指す	・岸壁、歩道橋の保全及び耐震 工事等の大規模修繕工事の 実施 ・フェリーターミナル BCP を より強固にすべく、各種訓練 の不断の見直し、拡充を図っ ている
□環境 ✓社会 ✓経済	全ての人が快適に利 用できる施設の提供	フェリーターミナル及び関連施設の バリアフリー化の進展等を通じたユニ バーサルツーリズム確立への貢献 1・3 号人道橋改修予定 3 号歩道橋改修予定	1 号人道橋改修完了 (従来の階段構造からエレベ ーターを併設したバリアフリ ー構造への仕様変更)
✓環境 □社会 ✓経済	温室効果ガス (CO ₂) 排出量削減	社有地での太陽光発電事業を展開 し、自社の脱炭素化を進め、当社全 体における CO ₂ 排出量を 2030 年度 において、2013 年度比約 70%削減 を目指す 【現状】 60%削減 ※2020 年度実績 【目標】 約 70%削減	2023 年度実績 59%削減 (2013 年度比)